

事業№	事業名	東京新湊、小杉、近畿いみず、大門郷友会活動補助金				担当部署	部名	市長政策室
		(秘書事務費)					課名	秘書広報課
007							電話	57-1621
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	総務費
	政策名(章)	第 3 章 交流で輝くまちづくり					項	総務管理費
	施策名(節)	第 1 節 国内交流の推進					目	一般管理費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	東京新湊会、東京小杉会、東京大門郷友会、近畿いみず会
	意図	補助目的	東京地方、近畿地方在住の射水市出身者同士の交流機会の創出を図り、射水市の活動状況等についての情報交換を行うことで会員の本市の理解を深めていただくことにより、大都市圏での本市の事業PR等の一役を担っていただく
事業内容	手段	主な活動	・総会、役員会 ・各種交流会 ・大都市圏で本市が実施する事業のPR等の支援活動

補助金	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()	
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)		上限額
		☐ 定額補助	5~10万円		100 千円
		☐ 定率補助			
	その他	※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載			

施設管理運営	施設名			管理形態	
	構造・階数			指定管理者名	
	建築年度	改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無	延床面積		類似施設状況	
	設備・規模				

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業№	事業名	東京新渡、小杉、近畿いみず、大門郷友会活動補助金 (秘書事務費)	担当部署	部名	市長政策室
007				課名	秘書広報課
				電話	57-1621

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 ※設定できる場合 ()	人							
	上記4団体の活動回数	回	19	19	25	131.6	25		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	400 千円	400 千円	0.0	400 千円
		(補助金交付件数)	(4 件)	(4 件)	0.0	(4 件)
		人件費	204 千円	204 千円	0.0	204 千円
		退職手当引当金相当額	30 千円	30 千円	0.0	30 千円
	財源内訳	事業コスト計	634 千円	634 千円	0.0	634 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	634 千円	634 千円	0.0	634 千円
		当該事務従事職員数	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者1人当たりコスト		—	—		
	うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	明確な補助基準がないものの、下の「有効性」欄で挙げる効果などが見られるなど、市にとって有益な事業であるとする。
有効性	3	各会の活動維持、会員同士のネットワークの構築・深化に寄与している。また、大都市圏で実施する市の事業等で会員の皆様にご協力をいただくなど、直接的ではないが、会が存続することによる効果があるとする。
効率性	4	補助金のほか、会員からの会費収入等で各種事業を実施している。また、実施している事業は総会等 毎年同様の事業を実施しているため、これ以上大幅な経費削減は望めないものとする。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
大都市圏での市の事業に対する協力、会員との新たなネットワークの構築による市にとって有益な情報の収集など、間接的な効果もある。				

事業No.	事業名	ふれあい農園管理費				担当部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
125							電話	82-1959
事業期間		開始年度	平成 12 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	農林水産業費
	政策名（章）	第 3 章 交流で輝くまちづくり					項	農業費
	施策名（節）	第 1 節 国内交流の推進					目	農村環境改善費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	農業者以外の者が農産物を栽培し、周辺農業者、住民との交流を図る。
	意図	設置目的	健康でゆとりある生活の確保の場として、農園を設置し、他市町村の住民を含む農業者以外の者が、農業体験をすることにより、周辺農業者や周辺住民との交流を図る。
事業内容	手段	主な活動	農園（圃場；畑地）の貸し出し（指定管理）

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容（基準単価・補助率等）	上限額

施設管理運営	施設名	ふれあい農園		管理形態	指定管理		
	構造・階数	市民農園		指定管理者名	NPO法人 しもむらスポーツクラブまいけ		
	建築年度	平成 12 年度	改修年度	年度	指定管理期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度	
	耐震の有無		延床面積	m ²	類似施設状況	県施設	- 市施設 1
	設備・規模	敷地面積 3,400m ² （機械器具格納庫及び休憩棟；139.46m ² ） 農園（圃場）58区画 面積計 2,803m ² （区画内用排水路、水汲み兼洗い場 6箇所）					

施設等整備	総事業費	財源内訳（千円）	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度	

その他	特記事項等	ふれあい農園は、下村パークゴルフ場と同一敷地内にあり、パークゴルフ場と共に指定管理施設となっている。
-----	-------	--

事業No.	事業名	ふれあい農園管理費	担当部署	部名	産業経済部
125				課名	農林水産課
				電話	82-1959

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 26 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合（使用許可人数）	人	51	56	54	96.4	56	56
活動指標	圃場区画総数	区画	58	58	58	100.0	58	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	335 千円	205 千円	▲ 38.8	205 千円
		人件費	816 千円	544 千円	▲ 33.3	408 千円
		退職手当引当金相当額	120 千円	80 千円	▲ 33.3	60 千円
		減価償却費相当額	478 千円	478 千円	0.0	478 千円
		事業コスト計	1,749 千円	1,307 千円	▲ 25.3	1,151 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	1,749 千円	1,307 千円	▲ 25.3	1,151 千円
	当該事務従事職員数		0.12 人	0.08 人	▲ 33.3	0.06 人
	利用者1人当たりコスト		34.29 千円	24.20 千円	▲ 29.4	
	うち一般財源ベース分		34.29 千円	24.20 千円	▲ 29.4	

評価項目	点数	説明
必要性	3	他に類似する市有施設があるが、下地域との交流施設として有効な活用が図られている。
有効性	3	広域に亘る地域からの利用があり、地域間交流が図られている。
達成度	4	指定管理の導入により、利用率が増加している。
効率性	3	指定管理の導入後、施設の維持管理体制が確保され、利用者に好評を得ている。

評価結果（1次）	C	施設の在り方の見直しが必要	評価結果（2次）	
評価結果を踏まえた今後の方針（改善内容）			評価委員会のコメント	
下村パークゴルフ場と同一敷地内に在るため、複合施設としての観点から、見直しを図る。				

事業№	事業名	庄川水辺の交流館				担当部署	部名	都市整備部
		(河川管理費)					課名	道路・河川管理課
143							電話	52-7392
事業期間		開始年度	平成 19 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	土木費
	政策名(章)	第 3 章 交流で輝くまちづくり					項	海岸河川費
	施策名(節)	第 1 節 国内交流の推進					目	海岸河川総務費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市庄川水辺の交流館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民・庄川の自然
	意図	設置目的	庄川の自然に親しむことができる拠点として活用するとともに、住民相互の交流の促進を図る。
事業内容	手段	主な活動	交流館展示室や休憩室への自由な出入り
			芝生広場での軽運動やバーベキュー 遊歩道の散策等

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	庄川水辺の交流館			管理形態	指定管理		
	構造・階数	鉄骨造平屋建て			指定管理者名	西町自治会		
	建築年度	平成 19 年度	改修年度	年度	指定管理期間	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度		
	耐震の有無	有	延床面積	152.95 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模	施設: 敷地面積4,299m ² 、建築面積237m ² (休憩室、展示室、トイレ、駐車場、芝生広場) 設備: 給排水設備、空調設備、電気設備等						

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	平成21年4月から指定管理による管理運営を開始、立地地元の西町自治会が指定管理者となっている。(指定管理期間:平成21年4月1日から平成24年3月31日まで)
-----	-------	---

事業№	事業名	担当部署	部名	都市整備部
143	庄川水辺の交流館 (河川管理費)	課名	道路・河川管理課	
		電話	52-7392	

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合 ()	人						
	トイレ設備の点検、清掃	回	54	60	52	86.7	60	96
活動指標	交流イベント等利用促進	回	1	2	3	150.0	3	
	開館日数	日	258	260	260	100.0	260	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	1,439 千円	1,453 千円	1.0	1,401 千円
		人件費	340 千円	272 千円	▲ 20.0	272 千円
		退職手当引当金相当額	50 千円	40 千円	▲ 20.0	40 千円
		減価償却費相当額	1,500 千円	1,500 千円	0.0	1,500 千円
		事業コスト計	3,329 千円	3,265 千円	▲ 1.9	3,213 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	3,329 千円	3,265 千円	▲ 1.9	3,213 千円
	当該事務従事職員数		0.05 人	0.04 人	▲ 20.0	0.04 人
	利用者1人当たりコスト		—	—		
	うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	市の特色、魅力を継承し、住民相互の交流を促進する施設である。
有効性	3	各種イベント等施設利用の促進を図っていく工夫が必要である。
達成度	3	無人管理施設であり、展示室の入場者把握は難しいが、交流イベント利用は順調に増加している。
効率性	4	指定管理によるコスト削減を図っている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
引続き、指定管理による効率的な管理運営を推進し、庄川の自然と伝統を身近に市民の交流促進を図る。				